

礼拝メッセージフィードバック

<今日の聖書箇所は…>

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

セル ガイド

- ①祈り、賛美によって主がここにいてくださることを信じ、聖霊様をさがめます。
- ②互いの存在を感謝し、尊敬するところを分かち合しましょう。
- ③ディボーションの分かち合いをします。
- ④セルの目的と働きについてみなで共有して、祈り、遣わされて行きましょう。

家族礼拝ガイド

年長のクリスチャンがリードしてください。進め方にはいろいろな意見が出るかもしれませんが、「主に期待する」信仰が最も大切です。いつもの家族でいいのです。

- ①この1週間で神様はすばらしいと感じたのはどんなこと？
- ②この1週間でお互いにどんなことを感謝しますか？（または誉めたいですか？）1つだけ。
- ③聖書のみことばから、どんな実践をして、またどんな恵みがありましたか？
- ④互いの必要のために祈りましょう。

ディーヴォ ガイド



2025.8.4-10

But **grow** in the grace and knowledge of our Lord and Savior Jesus Christ. To him be glory both now and forever! Amen. II Peter 3:18

L T G ガイド

- ①お互いへの感謝と誉めることを分かち合しましょう。（2～3つ）
- ②1週間の罪を言い表して悔い改め、互いに祈りましょう。
- ③礼拝メッセージの分かち合いをします。
礼拝メッセージの分かち合いが難しい場合はディボーションの分かち合い（なるべく短く）
- ④預言の祈り（主の御心を宣言して祈り）をします。

4日 月曜

エゼキエル



12:17 次のような【主】のことばが私にあった。

12:18 「人の子よ。震えながらあなたのパンを食べ、おののきながら、恐る恐るあなたの水を飲め。

12:19 この国の人々に言え。『【神】である主は、イスラエルの地にいるエルサレムの住民について、こう言われる。彼らは自分たちのパンを恐る恐る食べ、自分たちの水をおびえながら飲むようになる。こうしてその地は、そこに住むすべての者の暴虐のゆえに痩せ衰える。

12:20 人の住んでいた町々が廃墟となり、その地が荒れ果てるそのとき、あなたがたは、わたしが【主】であることを知る。』」

12:21 次のような【主】のことばが私にあった。

12:22 「人の子よ。あなたがたがイスラエルの地について、『日は延ばされ、すべての幻は消え失せる』と言っている、あのことわざは何なのか。

12:23 それゆえ、彼らに言え。『【神】である主はこう言われる。わたしは、あのことわざをなくす。イスラエルでは、もうそのように言わなくなる。』かえって、彼らにこう告げよ。『その日は近づき、幻のすべては実現する』と。

12:24 もう、むなしい幻も、へつらいの占いも、ことごとくイスラエルの家からなくなるからだ。

12:25 それは、【主】であるわたしが語り、わたしが語ったことを実現し、決して引き延ばさないからだ。反逆の家よ。あなたがたが

生きているうちに、わたしは言ったことを実現させる——【神】である主のことば。」

12:26 次のような【主】のことばが私にあった。

12:27 「人の子よ。今、イスラエルの家は言っている。『彼が見ている幻はずっと後のことについてであり、はるか遠い将来について預言しているのだ。』

12:28 それゆえ、彼らに言え。『【神】である主はこう言われる。わたしのすべてのことば、わたしが語ることは、もはや引き延ばされることはなく、必ず成就する——【神】である主のことば。』」

神さまはエゼキエルに、預言をする前にその内容を体験させようと、同じ経験をするように命じます。神様のことばを告げる者は、その相手と共感する必要があるからです。

私たちは神さまのことば、すなわち聖書とその真理を知っていますが、それを伝えるには、相手のことを思いやり、同じ目線や同じ思いで愛することが必要なのです。人に救われて欲しいと願うとき、人に成長して欲しいと願うとき、自分はもう安心なところにいるというような思いではなく、相手と同じ重荷や境遇を負っていきましょう。

「わたしは、あのことわざをなくす。イスラエルでは、もうそのように言わなくなる。』かえって、彼らにこう告げよ。『その日は近づき、幻のすべては実現する』と。」という主のことばがあります。主の教えが「ことわざのように」単なる、知識になっているからです。主のことばは本当に実現する力なのです。

主の命令に従わずに、ただの教えとしてしまっ
て無視していることはないでしょうか。考えてみ
ませんか。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



5日 火曜

エゼキエル



13:1 次のような【主】のことが私にあった。
13:2 「人の子よ。預言をしているイスラエルの預言者どもに対して預言せよ。自分の心のままに預言する者どもに向かって言え。
『【主】のことは聞け。
13:3 【神】である主はこう言われる。わざわざ。自分で何も見ないのに、自分の霊に従う愚かな預言者ども。
13:4 イスラエルよ。あなたの預言者どもは、廃墟にいる狐のようになった。
13:5 あなたがたは、【主】の日の戦いに耐えられるように、破れ口にとった、イスラエルの家の石垣を築いたりしなかった。
13:6 彼らはむなしい幻を見、まやかしの占いをして、「【主】のことは」などと言っている。【主】が彼らを遣わしたのではないのに。しかも、彼らはそのことが成就するのを待ち望んでいる。
13:7 あなたがたが見ているのはむなしい幻、あなたがたが語るのはまやかしの占いではないか。「【主】のことは」などと言っているが、わたしが語っているのではない。
13:8 それゆえ、【神】である主はこう言われる。あなたがたは、むなしいことを語り、まやかしの幻を見てきた。それゆえ今、わたしはあなたがたに敵対する——【神】である主のことは——。
13:9 わたしは、むなしい幻を見、まやかしの占いをしている預言者どもに手を下す。彼らはわたしの民の交わりに加えられず、イスラエルの家の文書にもその名を記されない。イスラエルの地にも入ることができない。その

ときあなたがたは、わたしが【神】、主であることを知る。

13:10 実に彼らは、平安がないのに「平安」と言って、わたしの民を惑わし、壁を築くとすぐ、それに漆喰で上塗りをしてしまう。
13:11 漆喰で上塗りをする者どもに言え。それははがれ落ちる、と。豪雨が起り、わたしが雹を降らせ、激しい風を吹きつける、と、

13:12 壁は落ちる。人々はあなたがたに向かって「上塗りをした漆喰はどこにあるのか」と言わないだろうか。

13:13 それゆえ、【神】である主はこう言われる。わたしは、憤りによって激しい風を吹きつける。怒りによって豪雨が起り、激しい憤りによって破壊のための雹が降る。
13:14 あなたがたが漆喰で上塗りした壁を、わたしが壊し、地に倒してしまうので、その土台までもあらわにされる。それが倒れ落ち、あなたがたがその中で滅びるとき、あなたがたは、わたしが【主】であることを知る。

13:15 わたしは、その壁と、それを漆喰で上塗りした者どもへのわたしの憤りを終わらせて、あなたがたに言う。「壁もなくなり、それに漆喰を塗った者どももいなくなった」と。

13:16 エルサレムについて預言し、平安がないのに平安の幻を見ていたイスラエルの預言者どもよ——【神】である主のことは。』

「【主】のことは」などと言っているが、わたしが語っているのではない。」というような偽の預言者がいると、主は仰せられます。同じようなことを、

現代のクリスチャンでもしてしまう可能性があります。

つまり自分本位の「平安」のために、勝手にみことばを解釈して、自分の都合の良いように理解してしまうことです。主に従っていないのに、大丈夫だと思い込みたいたがためです。いつか「土台までもあらわにされて」しまいますから、素直になって主に従いましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



6日 水曜

エゼキエル



13:17 人の子よ。あなたは、自分の心のま
まに預言するあなたの民の娘たちに顔を向け、
彼女たちに預言せよ。

13:18 『【神】である主はこう言われる。わ
ざわいだ。どの人の手首にも呪法のひもを縫
い合わせ、あらゆる高さの頭にも合うように
ベールを作って、人々のたましいを罫にかけ
る女たち。あなたがたは、わたしの民のたま
しいを罫にかけ、自分たちのたましいのため
に人々を生かしているのだ。』

13:19 あなたがたは、ひとつかみの大麦のため
、少しばかりのパンのために、まやかしに
聞き従うわたしの民にまやかしを行い、死ん
ではならないたましいを死なせ、生きてい
てはならないたましいを生かして、わたしの民
のうちでわたしを汚した。

13:20 それゆえ、【神】である主はこう言わ
れる。見よ。あなたがたが、鳥を捕るように
人々のたましいを罫にかけた、呪いのひもに
わたしは敵対する。それらをあなたがたの腕
からもぎ取り、あなたがたが鳥を捕るように
罫にかけたたましいを、わたしは解き放つ。

13:21 わたしはあなたがたのベールをはがし、
わたしの民をあなたがたの手から救い出す。
罫にかかった者たちは、もうあなたがたの手
のうちにはいなくなる。そのときあなたがた
は、わたしが【主】であることを知る。

13:22 あなたがたは、わたしが悲しませな
かったのに、正しい人の心を偽りで悲しませ
た。悪しき者を力づけ、彼が悪の道から立ち
返って生きることがないようにした。

13:23 それゆえ、あなたがたは、もう、むな
しい幻を見ることができず、占いもできなく

なる。わたしは、わたしの民をあなたがた
の手から救い出す。そのときあなたがたは、
わたしが【主】であることを知る。』

女預言者たちが、自分のために耳ざわりの良い
ことを言っている様子が分かります。主はこのよ
うな者たちに「まやかしを行い」と指摘し、「わ
たしを汚した」と、断罪します。そして「あなた
がたは、わたしが主であることを知ろう」と、必
ずや彼女たちが、自分の罪が主にさばかれるのだ
と明言なさいます。

私たちも気をつけないと、人が主に従ってい
ないのに大丈夫だと、根拠のない安心を与えてしま
うことがあるかも知れません。主に従っていない
のに、祝福されるとか恵を与えてくださいなど
と言うのは、愛ではありません。むしろその人を神
の真理から遠ざけ、また神さまとの愛の交わりか
らはずしてしまう、危険な行為かも知れないので
す。

主に従わない人には何を言っても難しいと思わ
れますが、それでも安易に耳ざわりの良いことば
を言うのではなく、主の愛と真理が無駄にならない
ように、悩む必要もあるのです。自分ではその
人のことを思っていることばであったとしても、神
様の方が自分よりもはるかにその人を愛している
のだということを忘れてはなりません。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の
約束、愛の満ちなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願
いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのど
の部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



7日 木曜

エゼキエル



14:1 イスラエルの長老たちの何人かが来て、私の前に座った。

14:2 そのとき、私に次のような【主】のことばがあった。

14:3 「人の子よ。これらの者たちは自分たちの偶像を心の中に秘め、自分たちを不義に引き込むものを、顔の前に置いている。わたしは、どうして彼らに応じられるだろうか。

14:4 それゆえ、彼らに告げて、こう言え。

『【神】である主はこう言われる。心の中に偶像を秘めて、不義に引き込むものを自分の顔の前に置きながら、預言者のところに来るすべてのイスラエルの家の者には、その偶像の多さに応じて、【主】であるわたしが答える。

14:5 こうして、偶像のゆえにみなわたしから離されてしまったイスラエルの家の心を、わたしがとらえる。』

14:6 それゆえ、イスラエルの家に言え。

『【神】である主はこう言われる。立ち返れ。あなたがたのすべての偶像から身を翻せ。すべての忌み嫌うべきものをあなたがたの前から遠ざけよ。

14:7 イスラエルの家の者でも、イスラエルに寄留している者でも、だれでもわたしから離れ、心の中に偶像を秘めて、自分を不義に引き込むものを顔の前に置きながら、わたしに尋ねようと預言者のところに来る者には、

【主】であるわたし自身が答える。

14:8 わたしはそのような者に敵対してわたしの顔を向け、彼をしるしとし、語りぐさとして、わたしの民の間から絶ち滅ぼす。そのときあなたがたは、わたしが【主】であること

を知る。

14:9 もし預言者が惑わされてことばを語るなら、【主】であるわたしがその預言者を惑わしたのである。わたしはその者に手を伸ばして、わたしの民イスラエルのうちから根絶やしにする。

14:10 このような者たちは自分の咎を負う。その預言者の咎と、尋ね求めた者の咎は同じである。

14:11 こうしてイスラエルの家は、もうわたしから迷い出ることはなく、重ねて自分たちの背きによって自分自身を汚すことはなくなる。彼らはわたしの民となり、わたしは彼らの神となる——【神】である主のことば。』」

長老とは指導者であり、イスラエル共同体の決定権も持つ人々ですが、そのような者たちも偶像によって信仰が曲げられているということです。そしてここには「心の中に偶像を秘め」とありますから、単に見える偶像だけではなく、心の問題でもあるのです。

どんなものでもそれが影響して「わたし（神）から離れて」しまうようなものがあれば、それは結果的には偶像と一緒だということです。人は神さまに従わないでいるためには、様々なことをその理由にしますが、それらは偶像と一緒です。

特に教会でも指導者であったり、意思決定に関わっていたり、または誰かの信仰に影響がある人である場合は、心の偶像を処分しなければなりません。それは自分と人のためです。

また誰であっても自分の祝福のために、偶像すなわち神様との関係を妨げるような理由を処分する必要があります。安心して、また勇気を持って、また勝利の確信を持ってそれができるように、互いに祈りあいましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



8日 金曜

エゼキエル



14:12 次のような【主】のことばが私にあった。

14:13 「人の子よ。国が、わたしに対して罪あるものとなって信頼を裏切り、そのためわたしがその国に手を伸ばし、その地のパンの蓄えをなくし、その地に飢饉を送り、人や家畜をそこから絶ち滅ぼすとき、

14:14 たとえ、そこにノアとダニエルとヨブの、これら三人の者がいても、彼らは自分たちの義によって自分たちのいのちを救い出すだけだ——【神】である主のことば——。

14:15 もし、その国にわたしが悪い獣を行き巡らせ、それを不毛にし、荒れ果てさせ、獣ゆえに通る過ぎる者もいなくなるなら、

14:16 たとえ、その中にこれら三人の者がいても——わたしは生きている。【神】である主のことば——彼らは決して自分の息子も娘も救い出すことはできない。ただ彼ら自身だけが救い出され、その地は荒れ果てる。

14:17 あるいは、わたしがその地の上に剣をもたらし、『剣よ、この地を行き巡れ』と言って、人や家畜をそこから絶ち滅ぼすとき、

14:18 たとえ、その地にこれら三人の者がいても——わたしは生きている。【神】である主のことば——彼らは決して自分の息子も娘も救い出すことはできない。ただ彼ら自身だけが救い出される。

14:19 あるいは、わたしがその地に疫病を送って、人や家畜をそこから絶ち滅ぼすために、流血をもってわたしの憤りをその地に注ぐとき、

14:20 たとえ、そこにノアとダニエルとヨブがいても——わたしは生きている。【神】で

ある主のことば——彼らは決して息子も娘も救い出すことはできない。彼らは自分たちの義によって自分たちのいのちを救い出すだけだ。」

14:21 まことに、【神】である主はこう言われる。「人や家畜を絶ち滅ぼすために、わたしが剣と飢饉と悪い獣と疫病の、四つのひどい刑罰をエルサレムに送るとき、

14:22 見よ。そこに逃れの者が残っていて、息子や娘たちを連れ出し、あなたがたのところにやって来る。あなたがたは彼らの生き方と行いを見て、わたしがエルサレムにもたらしただざわいと、わたしがそこにもたらしただことすべてについて、慰めを受ける。

14:23 あなたがたは、彼らの生き方と行いを見て慰められる。このとき、あなたがたは、わたしがそこでしたすべてのことは、理由もなくしたのではないことを知る——

【神】である主のことば。」

神様はイスラエルの反逆のゆえに、ききん、悪い獣、剣、疫病によって、彼らを断ち滅ぼすと言われます。彼らの多くは、自分たちの中にも信仰篤い者がいるので、神は滅ぼされまいと考える者がいるかもしれませんが。しかし主は「たとえ、そこにノアとダニエルとヨブがいても——わたしは生きている。【神】である主のことば——彼らは決して息子も娘も救い出すことはできない。彼らは自分たちの義によって自分たちのいのちを救い出すだけだ。」と仰せられます。

甘い考えは神のさばきの前には通用しないのです。それぞれ自分自身の信仰と従いが大切なのです。誰も主のさばきの前に立てる者はありません。

ただ、主イエスの十字架の贖いだけが、私たちを救います。旧約の人ではなく、神である主イエスだけが、その信仰（正しくは真実）のゆえに、

私たちがさばかれずにすむのです。

神のさばきの正しさと、自分の不従順の数々、そして主イエスの十字架の救いを思い、感謝しましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



9日 土曜

エゼキエル



15:1 次のような【主】のことばが私にあった。
15:2 「人の子よ。ぶどうの木は森の木立の中であって、ほかの木より枝がどれだけすぐれているのか。
15:3 何か役に立つものを作る木材が、そこからとれるというのか。それとも、何かの器具を掛ける木鉤を作ることができるというのか。
15:4 見よ。それは薪として火に投げ入れられ、火がその両端を焼き尽くす。その中まで焦げてしまえば、それは何の役に立つだろうか。
15:5 見よ。それが完全なときでも何も作れないのに、まして、火がそれを燃やして焦がせば、それで何が作れるだろうか。」
15:6 それゆえ、【神】である主はこう言われる。「わたしが薪として火に投げ入れた、森の木立の間のぶどうの木のように、わたしはエルサレムの住民を火に投げ入れる。
15:7 わたしは彼らに敵対して顔を向ける。彼らが火から逃れても、火は彼らを焼き尽くす。わたしが彼らに顔を向けるそのとき、あなたがたはわたしが【主】であることを知る。
15:8 彼らがわたしの信頼を裏切ったので、わたしはこの地を荒れ果てさせる——【神】である主のことば。」

ぶどうの木は細くて木材にはなりません。実を結ばなければ何の役にも立たないのです。イスラエルは実を結ばなかったので、「森の木立の間のぶどうの木のように、火に投げ入れてしまうと主は仰せられます。

ヨハネの福音書で、主イエスは「15:5 わたしはぶどうの木で、あなたがたは枝です。人がわたしにとどまり、わたしもその人の中にとどまっているなら、そういう人は多くの実を結びます。わたしを離れて

は、あなたがたは何もすることができないからです。

15:6 だれでも、もしわたしにとどまっていなければ、枝のように投げ捨てられて、枯れます。人々はそれを寄せ集めて火に投げ込むので、それは燃えてしまいます。」と言っておられます。

実を結ばないのは、イエス様の中にとどまっていないからです。自分自身に力がなくても、失敗を重ねていても、イエス様にとどまっている人は、イエス様から恵と喜びと力をもらい、イエス様の喜ばれることを楽しみとして生活します。そのような毎日を生きて、すばらしい実を結びましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



16:1 次のような【主】のことばが私にあった。
 16:2 「人の子よ。エルサレムにその忌み嫌うべきわざを告げ知らせよ。
 16:3 『【神】である主はエルサレムについてこう言われる。あなたの出身、あなたの生まれはカナン人の地、あなたの父はアモリ人、あなたの母はヒッタイト人であった。
 16:4 あなたの生まれについて言えば、あなたが生まれた日に、あなたは、へその緒を切られず、水で洗いきよめられず、塩でこすられず、布で包まれることもなかった。
 16:5 だれもあなたにあわれみをかけず、これらのことの一つでもあなたにしてやって、あなたに同情しようとはしなかった。あなたの生まれた日に、あなたは嫌われ、野に捨てられた。
 16:6 わたしあなたがあなたのそばを通りかかったとき、あなたが自分の血の中でもがいているのを見て、わたしは血に染まったあなたに「生きよ」と言い、血に染まったあなたに、繰り返して「生きよ」と言った。
 16:7 わたしはあなたを野原の新芽のように育て上げた。あなたは成長して大きくなり、十分に成熟して、乳房はふくらみ、髪も伸びた。しかし、あなたは丸裸であった。
 16:8 わたしがそばを通りかかってあなたを見ると、ちょうど、あなたは恋をする年ごろになっていた。わたしは衣の裾をあなたの上に広げ、あなたの裸をおおった。わたしはあなたに誓って、あなたと契りを結んだ——
 【神】である主のことば——。そして、あなたはわたしのものとなった。

16:9 わたしはあなたを水で洗い、あなたの血を洗い落とし、あなたに油を塗った。
 16:10 わたしはまた、あや織りの衣服をあなたに着せ、じゅごんの皮の履き物をはかせ、亜麻布をかぶらせ、絹物でおおった。
 16:11 それから、わたしは飾り物であなたを飾り、腕には腕輪をはめ、首には首飾りをかけ、
 16:12 鼻には鼻輪、両耳には耳輪を着け、頭には輝かしい冠をかぶらせた。
 16:13 あなたは金や銀で飾られ、亜麻布や絹やあや織物を着て、上等の小麦粉や蜜や油を食べた。こうして、あなたは非常に美しくなり、女王の位に進んだ。
 16:14 あなたの美しさのゆえに、あなたの名は国々の間に広まった。それは、わたしがあなたにまとわせた、わたしの飾り物が完全であったからだ——【神】である主のことば。

みじめで恥辱に満ちた女性にイスラエルを例えています。実際イスラエルはエジプトでは奴隷であり、カナンに移住してからも強国に悩まされる、弱い存在でした。それを神様が救い、満ちし、高貴なものまでしてくださったのです。
 同じように私たちも、罪を死の中にあって、みじめな存在でしたが、神様の救いにあずかって、今や神の子とまでさせていただきました。
 イスラエルは神の恩を忘れて不信仰、不従順に陥ってしまいましたが、私たちはこれからも主に感謝しつつ、主の喜ばれる生き方をしていきたいと思います。自分が救われていなかったら、どれほどの恐怖と虚無の中にいたものであるか…それを忘れずに主に感謝を表しましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

